

お楽しみ会

クリスマス!!

楽しいクリスマスイベントを12月21日に行ないました。みんなで“き～よしこのよる～”の合唱でスタート、患者さんもサンタも一緒に楽しく歌いました。また、“サンタの福笑い”には保育室の子供たちも参加し、会場の雰囲気はグーッと盛り上がりました。最後に、赤いマントを着た子供たちが揃って登場し、“クリスマスの鐘が”のうたとマルモのお遊戯が披露され、とてもカワイイ聖歌隊からのプレゼントに会場全体が癒されました。各病棟ではサンタさんから患者さん全員にささやかな贈物が手渡され、つい涙ぐむ方もいらして、思い出深いクリスマスとなったようです。子供たち、そしてサンタさんに感謝！…素敵な一日がありました。

レク委員 たんぼぼ保育室 荒井 慶子



新春ゲーム大会

「患者さまが楽しみながら身体を動かせるイベント！」を目標に掲げ、2つのゲームを企画しました。“富士の山”を歌いながら、歌に合わせた準備体操の後、二手に分かれての鏡餅の作製対決では、分割した鏡餅のパーツを一つずつ隣の方に手渡しし、最後にパーツを組み立てて鏡餅を完成させる競争で、とても賑わいました。古式楽しい扇倒しでは、談話室中央に段違いに並べ立てた大小、色とりどりの扇に向かい、お手玉を投げて何本倒せるか！の勝負です。始めてみると・・・思っていた以上に力強いお手玉の投球に、参加された方々も我々スタッフもびっくりさせられました。扇が倒れる度に歓声が上がり、何より患者さんの笑顔が見られたことが一番の収穫でした。

レク委員 3階看護 佐々木 千奈美



2月の節分会!

4階談話室での“豆まき大会”。段ボール製の赤・青・緑鬼に交じり、妙な黒鬼が動き回る中、「鬼を退治して、厄を払いましょう」の合図で、患者さんもご家族の方もみんなで「鬼はそと～！」と大きな声で豆まきをしました。患者さんが掴みやすいようにと新聞紙を丸めたボール状の大きな豆は、とても投げやすかったようです。

一方、後日行なわれた2階談話室での“節分会”では、「桃太郎の鬼退治」の歌と紙芝居に始まり、職員の扮した赤と青鬼が登場すると、やはり紙を丸めた小振りの豆(お手玉)をまくことになりました。患者さんが逃げ惑う鬼に向かって投げつける豆にも、なんとなく力が入っていたように感じられ、歓声もひと際大きく、鬼共は早々に退散いたしました。入院中の皆さまが、声を出して笑う、身体を動かして何かをしようとする、そんな意欲が引き出されるような場をこれからも企画していきたいと思えます。

広報委員 4階看護 阿部 和恵



オアシス

OASIS

医療法人一心会 上尾産生病院 季刊誌
HP <http://www.agekousei.jp/>
TEL: 048-781-1101

2012年 春号

上尾産生病院 理念

私たちは、良質で安全な医療と療養環境を提供致します。

私の診療風景

この3月より、上尾産生病院に赴任しました竹田広毅です。専門は脳神経外科です。出身地は東京都北区の東十条ですが、東北幹線の東京―上野間の開通を機に15歳からは吉祥寺に移り住むことになりました。引越した当時、吉祥寺には所々に畑が残るのどかな町の風情が漂っていましたが、現在は随分とお洒落な都会の街に変身してしまいました。

私が医師を目指した理由はテレビの影響が大きかったです。小学校2、3年の頃、白血病になった患者を医師が助けようとするドラマが放映されていて、「自分もこの医者のように患者さんを病から救いたい」と強い憧れを感じて医師になろうと決意しました。

大学は通学の便の良い新宿に通うことになり、医者としての知識・技術を習得する為の勉学に動んだのは当然ですが、身体を鍛えることも大切だと思い空手部に所属して部活に明け暮れることになりました。大学卒業後は母校の大学院の脳神経外科に所属し、殆んど大学へ泊まり込みで仕事に熱中する日々が数年続きました。ある日、医局長から「先生、八王子の医療センターへ半年間出向してくれないか？ 忙しいところだけど先生ならやり遂げられるよ。それに先生を助手に推薦してあげるよ。」なんて甘いお言葉をいただきました。以後十数年間、私は八王子で生活することになったわけですが、私の青春時代は吉祥寺から新宿、そして八王子と常に中央本線と共にあり、とてもお世話になったものと感じています。

脳神経外科 竹田 広毅

□よりよい医療環境の提供を願って



私は、脳神経外科医として、くも膜下出血や脳腫瘍、脳出血などの治療を行ってまいりました。とりわけ八王子医療センターでは脳神経外科の手術件数も多く、手術中に次の患者さんが運ばれて来て連続手術になってしまうこともざらにありました。ひどいときには、くも膜下出血の手術が3件続いたこともあり、朝に手術を始めて3人目が終了したのは翌朝だったなんてこともありました。あの頃の私はテレビドラマの中の医師と自分とを重ね合わせて患者さんを助けることに夢中になっていたのですが、若さど気力・体力ともに充実していたから出来たことだと思います。

これまで出会った患者さんのことを思い起こしてみますと、「あー、あの人にはこんな方法もあったのかも知れない。」「あれもやっとけば良かったな。」「この薬を使えばよかったのかな？」そのような想いが湧き上がってきます。特に自分では「これで完璧！」と思っていた時に、いつも患者さんのすぐ側で支えて下さっている看護師さんやリハビリ担当の方から指摘をされて「あ！」と思うこともよくありました。完璧な医師はいないと思いますし、ましてや私一人の医療技術で出来ることにも限界があります。

だからこそ、「患者さんにとって最も良いこと」をみんなで協力して見つけていくことが大切ではないかと考えています。そして、医療者だけでなく患者さんやご家族の方と力を合わせて少しでもより良い医療環境を提供出来るように努めていきたいと思えます。これからもよろしくお願いたします。



「第三者提供の制限」について

個人情報保護法23条1項に「あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない」とあります。第三者には、家族や親類、友人も含まれ、本人の同意がない限り、例えば本人の家族であっても情報を提供してはいけないのです。たとえば病院受付で「〇〇さんと言う方が入院されていますか」という質問を受けてもお答えしないことになっています。「えへ、そんな些細なことまで!」と思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、入院患者さんの個人情報に関することには、お答えできかねますので、どうぞご理解いただきますよう、お願いいたします。

上尾睦生病院 基本方針

- 一、職員一同は、サービスという精神を持ち、互いに連携して心のこもった医療で、地域に信頼される病院を目指します。
- 二、良質な医療、療養環境を提供するため、スタッフ全員が自己研鑽に努めます。
- 三、慢心せず、常に細心の注意を払い、事故のない医療に努めます。
- 四、病氣、療養に対する十分な情報を共有し、自己決定権を尊重し公正な医療を行います。
- 五、守秘義務を徹底し、プライバシーを保護します。

5月から、上尾市特定・後期高齢健診 上尾市人間ドックを開始いたします

お手元に、受診券が届いたら、受診券・保険証(診察券)を持って、直接健診受付にお越しください。
※人間ドック・特定保健指導は事前に予約が必要です。

＜実施日時＞		実施健診				
受付時間	月 火 水 木 金	<5月から> ・特定健診 ・後期高齢者健診 ・上尾市人間ドック <7月から> ・大腸がん検診 ・前立腺がん検診 ・肝炎ウイルス検診 ・骨粗鬆症検診 ・ヘルステック ・介護予防適性判定 ・一般健診				
トピ	8:40 9:00	○	△	○	○	○
健診	10:00~ 11:30 14:00~ 16:30	○	△	○	○	○

※火曜日・土日・祝祭日の実施はありません。
 ※健診を10時以前にご希望の方は、事前にお問い合わせください。

- *上尾市各種健診は、受付時間内にお越しください。
- *人間ドック(上尾市及び平日)・生活習慣病健診・個人健診 企業健診・特定保健指導は予約制となります。
- *今後上尾市各種健診の実施方法・時間の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

医事課 TEL 048-781-1101(代表)
 健診担当 TEL 048-781-1902(直通)

編集後記

■今年も桜の季節が巡ってきました。昨年、3.11 東日本大震災直後に医療ボランティアとして被災地に赴いた時、瓦礫の中に倒れた桜の古木に花の蕾が膨らんでいるのを見て、自然のもつ回復力を感じました。被災地の一日も早い復興を祈らずにはおれません。

広報委員長 井口清吾



当病院の最新情報をお知らせします

訪問リハビリテーションサービスに、お伺いしています。

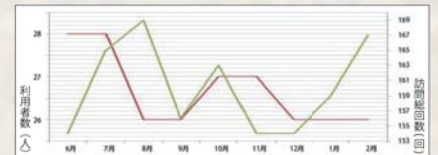
皆様こんにちは。上尾睦生病院訪問リハビリテーションサービス担当の名越です。平成21年12月より始めました当院の訪問リハビリテーションの近況をお知らせしたいと思います。

訪問リハビリテーションは、介護保険で受けられる居宅サービスの一つで、何らかの理由で外出が困難な(リハビリを受けたくても病院に通えない)要介護・要支援の方の自宅に、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が訪問して行う出張リハビリテーションです。私たちは利用者さまの居宅をお伺いして身体の機能維持回復や日常生活の自立を助けるため、また、要支援の方が要介護状態とならないようにするための予防にと、手や足腰の筋力トレーニングや歩行訓練などのリハビリテーションを行っています。



● 最近の実績

グラフは昨年6月から今年にかけての実績を表現したものです。赤線は月々の利用者数で、月平均は26.6人となり、緑線は月々の総訪問回数で、一人の月平均利用回数は6回となりました。



● 訪問している地域

現在、私たちが伺っている地域を上尾市地図上に青の部分で、中に地区名と利用者数を表わしてみますと、当院・地元の大谷地区を中心とした周辺地域となりますが、隣のさいたま市・北区にも2名の利用者さまがいらっしゃいます。ご希望があれば他の地域でもお伺いいたします。



● 利用者さまの声

スタッフは、私こと名越(写真後、左)を含め3名と事務員1名で担当しています。利用者さまより「歩けるようになるとは思ってもいなかったのに、こうして歩けるようになった。とても嬉しい!」との声を、また、ご家族の方からは、利用者さまが自分で食事が出来るようになる、立ち上がれるようになるなどのリハビリの成果により「介助がとても楽になり、私たちも嬉しいです!」といった多くの喜びの声を頂き、私たちスタッフにとっての励みとなっています。「病氣は克服したものの、この身体はもう、どうにもならないのか」などと悩んだり諦めたりせず是非ご相談頂ければと思います。

私たちは、リハビリを通してもっともっと地域の皆様のお役に立ちたいと願っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

リハビリテーション科一同
 文責 理学療法士 名越一貴



訪問リハビリテーションサービスの利用をご希望の際は、担当のケアマネージャーにサービスの希望をお申込みください。ケアマネージャーがケアプランの中にリハビリテーションサービスを組み込んでくれます。

サービス日時と費用

祝日を除く月～金曜日の午前9時～12時、午後1時～5時内で1回のリハビリ実施時間は40分を基本としています。費用は介護保険のご利用で1回につき700円程となります。